



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月1日

上場会社名 タカノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,364	1.2	301	31.7	351	15.1	247	11.6
29年3月期第2四半期	9,476	0.1	441	200.8	413	121.4	279	170.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 360百万円 (33.7%) 29年3月期第2四半期 269百万円 (1,274.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	16.26	
29年3月期第2四半期	18.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	35,075	27,894	79.5	1,835.63
29年3月期	35,169	27,746	78.9	1,825.91

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 27,894百万円 29年3月期 27,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	2.3	1,400	27.8	1,500	25.7	1,050	24.2	69.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	15,721,000 株	29年3月期	15,721,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	524,811 株	29年3月期	524,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	15,196,189 株	29年3月期2Q	15,196,226 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境等の改善により緩やかな回復傾向が続きまし。しかしながら、米国大統領の今後の政策の影響やアジアを中心とした地政学リスクの拡大、欧州の政治リスクに対する警戒感の高まり等を受け、景気の先行きは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の達成に向け、計画の2年目にあたる当期は、計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、新営業分野に関する製品開発・販売活動、各種の事業提携活動およびグローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットやIoTを活用したシステムの導入や間接部門を中心とした合理化プロジェクトの推進等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

しかしながら、産業機器およびエクステリア製品の販売の増加はあったものの、機械・工具の販売が大幅に減少したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,364百万円で、前年同四半期比112百万円（1.2%）の減収となりました。

利益面につきましては、合理化等積極的なコストダウン活動の推進に努めたものの、検査計測機器の販売価格の低下等の影響もあり、営業利益301百万円（前年同四半期比140百万円、31.7%の減益）、経常利益351百万円（前年同四半期比62百万円、15.1%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益247百万円（前年同四半期比32百万円、11.6%の減益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	3,798	3,826	0.8%	△16	△45	－%
検査計測機器	3,314	3,226	△2.7%	253	126	△50.0%
産業機器	1,030	1,181	14.6%	150	175	16.8%
エクステリア	426	545	27.7%	△10	24	－%
機械・工具	905	584	△35.4%	49	34	△30.3%
報告セグメント計	9,476	9,364	△1.2%	426	315	△25.9%
セグメント間取引消去	－	－	－%	14	△14	－%
合計	9,476	9,364	△1.2%	441	301	△31.7%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、生産性向上に向けた工場レイアウトの変更等製造の合理化に向けた活動を進めるとともに、業務効率の向上および組織の強化を図ることを目的とした組織体制の変更等に取り組んでまいりました。また、医療関連分野向け製品の営業体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、オフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は3,826百万円で前第2四半期連結累計期間比28百万円、0.8%とわずかながら増収となりました。しかしながら、利益面では積極的なコストダウンに努めたものの、市場競争の激化にともなう製品販売単価の低下の影響等により、セグメント損失は45百万円（前年同四半期はセグメント損失16百万円）と損失幅が拡大いたしました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、中国・台湾市場向け液晶検査装置および自動車業界等の新用途市場向け検査装置の販売活動に注力してまいりました。また、製品の競争力向上を図るべく、高速・高精細な次世代光学センサーの開発および部材コストの低減を可能とする新検査手法の開発に取り組んでまいりました。

しかしながら、主に装置販売価格等の低下の影響により、売上高は3,226百万円で前年同四半期比88百万円、2.7%の減収となりました。利益面につきましては、設計の標準化等コストダウン活動を積極的に推し進めたものの、収益性の高い製品分野の販売が伸び悩んだことおよび研究開発にかかる先行投資の影響等により、セグメント利益は126百万円で前第2四半期連結累計期間比126百万円、50.0%の減益となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、前連結会計年度に引き続き、国内および海外顧客に向けた積極的な営業提案活動、医療関係分野および半導体向け電磁アクチュエータの販売拡大、新たなコア加工技術開発等に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は1,181百万円で前第2四半期連結累計期間比150百万円、14.6%の増収となりました。またセグメント利益は175百万円で、前第2四半期連結累計期間比25百万円、16.8%の増益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向け、新製品を中心とした広告宣伝活動や販売活動に注力するとともに、営業体制の拡充に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は545百万円で前第2四半期連結累計期間比118百万円、27.7%の増収となりました。また利益面では、販売の拡大にともなう粗利益額の拡大、積極的な経費削減活動等により、セグメント利益は24百万円（前年同四半期はセグメント損失10百万円）と、黒字転換を果たすことができました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売促進活動に注力してまいりました。しかしながら、前四半期にありました機械にかかる大口物件の販売が当期にはなかったこと等により売上高は584百万円で、前第2四半期連結累計期間比321百万円、35.4%の減収となりました。利益面においては、販売の減少による粗利益の減少等の影響を受け、セグメント利益は34百万円で、前第2四半期連結累計期間比14百万円、30.3%の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は35,075百万円となり、前連結会計年度末と比較して94百万円減少いたしました。純資産合計は27,894百万円となり、前連結会計年度末と比較して147百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は79.5%と前連結会計年度末と比較し、0.6ポイント増加いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、現金及び預金が440百万円、今後の販売を控えた検査計測装置にかかる仕掛品の増加等により仕掛品が727百万円増加した一方、期末にかけて販売を行った製品の代金回収が進んだこととともない受取手形及び売掛金が2,212百万円減少したこと等により、流動資産合計は774百万円減少し、22,920百万円となりました。固定資産合計は、当社伊那工場において製品試験を行うための建物を建設したこと等とともない建物及び構築物が95百万円、当社伊那工場において建設中の表面処理設備の工事が進んだこととともない建設仮勘定が191百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金が200百万円それぞれ増加したこと等とともない、679百万円増加し12,154百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、主に支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が469百万円増加した一方、検査計測装置の大口物件にかかる売上高計上により前受金が504百万円減少したこと等により負債合計は242百万円減少し、7,180百万円となりました。

純資産の部については、株式相場等の回復により、その他有価証券評価差額金が114百万円増加し、純資産合計は前連結会計年度比147百万円増加の27,894百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成29年5月9日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,248,914	11,689,131
受取手形及び売掛金	8,209,702	5,997,125
有価証券	—	100,000
商品及び製品	527,952	625,548
仕掛品	2,338,779	3,066,210
原材料及び貯蔵品	837,821	826,158
その他	531,795	616,806
貸倒引当金	△336	△351
流動資産合計	23,694,629	22,920,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,619,032	2,714,187
機械装置及び運搬具(純額)	607,020	656,552
土地	4,250,044	4,250,044
その他(純額)	692,478	918,222
有形固定資産合計	8,168,575	8,539,005
無形固定資産	261,334	232,362
投資その他の資産		
投資有価証券	2,649,562	2,814,333
その他	401,592	574,907
貸倒引当金	△5,831	△6,048
投資その他の資産合計	3,045,323	3,383,192
固定資産合計	11,475,233	12,154,560
資産合計	35,169,863	35,075,188

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,778,429	1,727,780
電子記録債務	1,601,904	2,122,512
未払法人税等	255,821	107,271
前受金	1,008,481	504,038
賞与引当金	414,862	325,378
役員賞与引当金	17,604	—
その他	1,328,056	1,408,264
流動負債合計	6,405,160	6,195,246
固定負債		
長期借入金	140,000	120,000
役員退職慰労引当金	10,080	—
退職給付に係る負債	461,288	474,533
その他	406,441	390,795
固定負債合計	1,017,810	985,328
負債合計	7,422,970	7,180,575
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	23,202,275	23,236,602
自己株式	△272,477	△272,477
株主資本合計	27,301,115	27,335,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,640	497,556
為替換算調整勘定	51,225	47,947
退職給付に係る調整累計額	11,910	13,666
その他の包括利益累計額合計	445,776	559,170
純資産合計	27,746,892	27,894,613
負債純資産合計	35,169,863	35,075,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,476,746	9,364,692
売上原価	7,435,794	7,279,410
売上総利益	2,040,951	2,085,282
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	361,299	386,277
賞与引当金繰入額	71,138	92,646
退職給付費用	29,158	24,736
貸倒引当金繰入額	△3,478	14
役員退職慰労引当金繰入額	720	60
研究開発費	266,017	369,182
その他	874,913	911,197
販売費及び一般管理費合計	1,599,768	1,784,114
営業利益	441,183	301,167
営業外収益		
受取利息	13,456	6,904
受取配当金	16,346	16,737
為替差益	—	7,736
その他	30,203	26,060
営業外収益合計	60,006	57,439
営業外費用		
支払利息	1,222	993
為替差損	81,840	—
固定資産除売却損	2,310	4,821
その他	2,145	1,477
営業外費用合計	87,519	7,291
経常利益	413,670	351,315
税金等調整前四半期純利益	413,670	351,315
法人税、住民税及び事業税	81,899	92,972
法人税等調整額	52,228	11,268
法人税等合計	134,128	104,241
四半期純利益	279,542	247,073
親会社株主に帰属する四半期純利益	279,542	247,073

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	279,542	247,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,984	114,915
為替換算調整勘定	△51,889	△3,278
退職給付に係る調整額	9,913	1,756
その他の包括利益合計	△9,990	113,393
四半期包括利益	269,551	360,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	269,551	360,467
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	413,670	351,315
減価償却費	326,392	335,982
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3,478	232
賞与引当金の増減額（△は減少）	△100,188	△89,546
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△15,250	△17,604
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	6,904	13,352
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△180,480	△10,080
受取利息及び受取配当金	△29,803	△23,642
支払利息	1,222	993
売上債権の増減額（△は増加）	2,356,218	2,209,764
たな卸資産の増減額（△は増加）	417,193	△813,135
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,612,435	472,952
前受金の増減額（△は減少）	△7,966	△505,821
その他	340,607	△384,926
小計	1,912,607	1,539,834
利息及び配当金の受取額	31,444	23,443
利息の支払額	△1,400	△967
法人税等の支払額	△244,719	△221,114
法人税等の還付額	2,613	15,779
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,700,545	1,356,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△102,000	△362,000
定期預金の払戻による収入	618,000	168,000
有価証券の売却及び償還による収入	775,956	—
有形固定資産の取得による支出	△956,777	△290,658
有形固定資産の売却による収入	475	—
投資有価証券の取得による支出	△400,721	△100,573
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,000	—
その他	75,421	△28,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,353	△613,555
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,002	△42,502
自己株式の取得による支出	△26	—
リース債務の返済による支出	△34,144	△44,919
配当金の支払額	△151,962	△212,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,135	△300,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94,554	2,965
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,480,208	446,216
現金及び現金同等物の期首残高	7,957,876	11,009,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,438,084	11,456,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,798,362	3,314,805	1,030,934	426,826	905,817	9,476,746
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,390	7,421	6,527	4,733	170,890	209,963
計	3,818,753	3,322,227	1,037,461	431,559	1,076,708	9,686,710
セグメント利益又は損失(△)	△16,521	253,391	150,532	△10,442	49,419	426,379

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	426,379
セグメント間取引消去	14,803
四半期連結損益計算書の営業利益	441,183

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	3,826,984	3,226,489	1,181,320	545,180	584,717	9,364,692
セグメント間の内部売上高又 は振替高	26,992	54,594	14,763	7,762	332,659	436,773
計	3,853,977	3,281,083	1,196,083	552,943	917,377	9,801,465
セグメント利益又は損失(△)	△45,935	126,680	175,882	24,677	34,442	315,747

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	315,747
セグメント間取引消去	△14,580
四半期連結損益計算書の営業利益	301,167

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。